

「T1p060R5_1.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC
ユーザープログラム 「T1p060R5_1.bas」「T1p060R5_2.bas」

2. 対応分野 : 東京書籍 数学 p 60 関数の定義域・値域

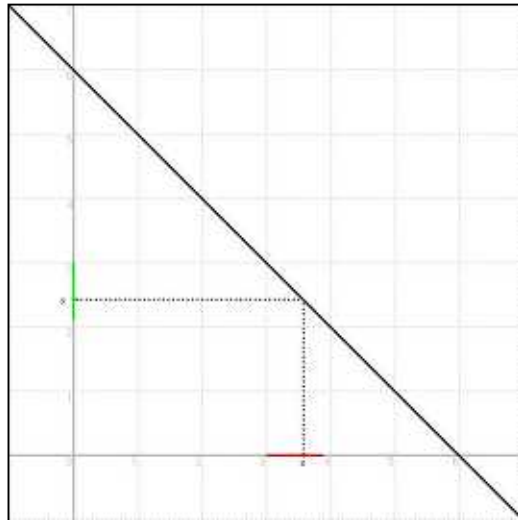
例4 次の関数の値域を求めよ。

(1) $y=12-4x$ ($0 \leq x \leq 3$) (2) $y=x^2$

3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後, 「開く」 「実行」と操作すると

(1) $y=12-4x$ ($y=x^2$) のグラフと $x=2$ (既定値) の対応関係が表示される。

4. 操作 :



(1) [] []キーで図の x を左右に移動させることができる。

(2) [S]キーで定義域の初期値 1 へ移動する。

(3) [R]キーで既定値 (初期画面) へ移動する。

(4) [Enter]キーで作業を終了する。

5. 目的 :

(1) 定義域に対する値域を視覚的に理解させる。

(2) y 軸上への影の集まりであることを認識させる。

6. 利用時期 :

(1) 教科書導入時

「関数 $y=x^2$ において, x の変域が **アイ** $x \leq 1$ のとき, y の変域は **ウ** $y \leq 9$ である。」

(アチーブメントテストより) において, **アイ** の正答率 66% に対して, **ウ** の正答率は
ほぼ 55% であり, **グラフをかいて考える** という習慣が定着していないようである。

(2) 指導後の追認作業として用いても良い。

(3) 既定値をそれぞれの問題にセットし, 座標位置を合わせたプログラムが用意されている。

例6 「T1p061R6.bas」

問3 「T1p061TO3_1.bas」「T1p061TO3_2.bas」